

〒975-0031
 福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
 TEL:(0244)26-1314
 FAX:(0244)26-1318
 E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



令和 6 年度 不登校・いじめ等対策推進事業における域別シンポジウム

- 日 時：令和 6 年 6 月 2 6 日（水） 1 3 : 1 5 ~ 1 6 : 1 5
- 会 場：南相馬市万葉ふれあいセンター（南相馬市鹿島区寺内字迎田 2 2）
- 参加者：小学校教諭 2 9 名、中学校教諭 1 8 名、義務教育学校教諭 3 名、合計 5 0 名
- 内 容：講 義「域内の生徒指導上の課題」
 講 義「SSR の実際と今後の生徒指導の在り方」
 協 議「児童生徒の心身の健康と安心できる学びの環境の構築」
 講 話「予防的心理教育プログラム『こころの授業』」
 親と子のサポートセンターふくしま 本田 智春 様

【研修のまとめ】

児童生徒が抱える様々な課題や多様なニーズへの支援状況を把握することにより、多様で適切な学習活動の拡充が求められている。生徒指導主事が中心となり、情報共有の機会を工夫し、以下の点に留意して各学校における支援体制の充実を図る。

- (1) 相双地区において、新規不登校児童生徒が増加傾向にあり、特に学年が上がるとともにその傾向が強くなる。不登校の主な要因として「無気力・不安」が最も多く挙げられているが、学年が上がるにつれて「学業不振」が占める割合が高くなる。**「学校生活の中で最も多くの時間を過ごす『授業』において必要な支援は何か」「無気力や不安を感じる理由は何なのか」等、児童生徒に寄り添った見取りが必要である。**
- (2) 新規不登校児童生徒の発生を抑えるためにも、**日常的な児童生徒の実態把握が大切**である。令和 4 年 1 2 月に改訂された**生徒指導提要**、県教委作成の『**ふくしまサポートガイド**』の「安心して学べる環境の整備－特別な教室－」等や**スペシャルサポートルーム（SSR）実践校の取組**を参考にする。
- (3) SC、SSW等との連携を図り、**児童生徒の自尊感情を高めることや、アンガーマネジメントの手法を用いるなど、子どもが落ち着いて日常生活に取り組みめるよう多面的・多角的にサポートすること。**

研修の感想

- 学校ではいじめを積極的に認知し、早期対応を行うことが重要である。不登校に対しても、いじめに対してもチーム学校として組織的な対応を行っていくことが大切である。
- 各校の取組は大変参考になった。特に児童会活動を生かし、集会活動を通して児童の心身の健康を育てていく取組を参考にし、学校全体が元気になっていく取組を考えていきたい。
- 心の安定のために自己肯定感を高めること、気持ちを切り替えることや感情をコントロールすることの大切さが分かった。考えの幅を広げるための実践をしていきたい。
- 子どもの表面的な様子や事象で判断するのではなく、それらの内にある原因や要因などにも目を向けて寄り添う支援をしていきたい。